

特別区の設置について

！ 素案のポイント

◆都市機能の強化

広域機能を大阪府へ一元化し、都市機能の強化を迅速・強力かつ効果的に推進していきます。

◆基礎自治機能の充実

地域のニーズに沿った身近なサービスを決定・提供できる大阪独自の「特別区」を設置し、豊かな住民生活を実現していきます。

※2 ひとくちメモ 特別区設置協定書

特別区設置協定書には、「大都市地域における特別区の設置に関する法律」に基づき、特別区の設置の日や区の名称及び区域、さらには事務の分担など、特別区の設置に際して必要となる事項を記載します。

共産

山中 委員

Q 台風21号では、都市機能の代表格の関空が甚大な被害を受けた。抜本的な防災対策など今後の広域インフラ整備は、国の関わり方等が重要であり、広域一元化で経済が良くなるという市民をだますような説明はやめるべき。

A 素案では、大阪府に広域機能を一元化して都市機能の向上を強力に進め、大阪の成長の実現をめざしている。広域の司令塔機能の一本化により、二重行政を制度的に解消し、広域的な視点で成長・発展や安全・安心に関する取組みを迅速・強力かつ効果的に進めることができる。

委員意見 広域の一元化で大阪の成長を図るというフレーズは何の意味もない。不毛な制度いじりの議論は打ち止めにし、防災対策に取り組むべき。

自民

花谷 委員

Q 経済効果は特別区設置協定書^(※2)の記載事項ではないことから、協議会で議論する必要はなく、府議会や市会で議論すべき。前回の協定書に、経済効果や再編効果額といった記載はあったのか。

A 前回の協定書では効果に関する記載はない。ただし、平成27年4月の住民説明会のパンフレットに再編効果額を記載し、住民の皆さまに説明した。

委員意見 経済効果が協定書の作成や制度設計とは関係ない入り口論である以上、協議会での議論は時間の無駄であり、府議会、市会で行えばよい。

Q 改革効果額は、大阪市のままでも生まれる効果。特別区設置で生まれる効果はほとんどないことは既に明白であるが、大都市制度導入に伴う経済効果の調査委託を行ったのはなぜか。

A 大都市制度の効果を定量的に示すべきとの協議会等での議論を受け、協議会や議会等での議論に資することを目的に、算定手法も含め、事業者の専門的知見を活用して効果の算出を行うという趣旨で調査委託を行ったもの。

委員意見 数値がひとり歩きしかねず非常に危険極まりない。前回は効果が生まれないことが明らかにされたにも関わらず、住民投票前のパンフレットに掲載された。同様の事態になりかねない。

自民

花谷 委員

Q 協議会の議論を受けて調査委託を行ったとのことだが、調査委託を行うか否か、協議会で議論したことは一度もないはず。経済効果の調査委託を行うきっかけとなった議論とは何か。

A 委員から制度改革の効果について、住民に正しく伝える必要があるとの意見を受け、松井委員から大都市制度の効果について、数値化の検討をさせるとの発言があった。この議論を受け、市長から調査委託を検討するよう指示があり、両議会で予算承認を経て、実施した。

委員意見 一人の委員からの意思表示があつて、知事、市長の判断、指示のもとで調査されただけ。協議会として意思決定は行っておらず、取り上げて議論しなければならないものではない。

Q 区割り案について、協議会として一度も意思決定していないが、4区B案という区割りは、すでに固まったものか。

A 第8回協議会において、4区B案に絞り込んで制度設計全体の議論を深めることにされたと認識している。なお、区割りは最終的に協議会で決定いただく事項だと考える。

委員意見 事務分担などの制度案を協議会として採決したことは一度もなく決まったことは何一つない。協議会で何も決めないのであれば、一刻も早く無駄な議論はやめて、協議会を廃止すべき。

特別区の名称について

！ 素案のポイント

◆基本方針

特別区は、現在の行政区の区域を越えて形成されることから、より包括的な名称とします。また、できる限り住民に親しみやすく、分かりやすいものとなるよう、極力簡潔な名称とします。

特別区名	区域
東西区	此花区、港区、西淀川区、淀川区、東淀川区
北区	北区、都島区、福島区、東成区、旭区、城東区、鶴見区
中央区	中央区、西区、大正区、浪速区、住之江区、住吉区、西成区
南区	天王寺区、生野区、阿倍野区、東住吉区、平野区

上記一覧表は、第9回協議会で示された特別区の名称(案)です。今後の協議会での議論によって変更になる場合があります。

維新

徳田 委員

Q 第四区(南区)は、天王寺・大阪阿倍野橋付近以外にも、谷町九丁目、大阪上本町、鶴橋付近、桃谷付近が比較的乗降客が多いターミナルと言えるが、乗降客数はどうなっているのか。

A 平成27年度大阪市統計書から引用した1日あたりの乗降客数は、谷町九丁目駅、大阪上本町駅が約14万人、鶴橋駅が約39万人、桃谷駅は約4万人である。

委員意見 第四区では天王寺・大阪阿倍野橋ターミナルが約74万人と最も多い。会派として第四区の市民に調査を行い、区名は南区よりも天王寺区が望ましいとの回答が約7割あった。意見表明の場で東西区を淀川区、南区を天王寺区への変更を提案する。